委員会だより　＜12月4日(日) 12名出席＞

1．財務報告： 11月分報告⇒委員会了承。
月定献金袋を新年度より変更。

2．バザー収支：
詳細をまとめて、掲示板に掲示

3．バザー反省：
◆壮年会：・前日の準備を、もっと楽に出来るのではないか。(例：床のレザーはり)
(いつものやり方に慣らされているが、工夫できることがありそう。)
◆婦人会：・自分達が造った品物の反省が主.
・テーブルが少々足りなかった。

4．12/11共同告解：
森田神父様と鵜飼神父様にお願いした。

5．12/24クリスマスごミサ後パーティ：
例年通り、オードブル＋寿司＋飲物

6．クリスマスのお飾り購入の件：
来年に持ち越し

7．1995年年間予定表： 取りまとめ中。
新年会は、壮/婦ともに第三日曜日(1/15)

8．壮年会，婦人会役員改選： 準備中

9．「福祉委員会」の件：
本件は、越年して"継続審議"とする。

10．トイレ補修の件：
◆松下さんお骨折りで見積入手(太陽工業所)
◆男女とも、1台ずつ洋式トイレに改造(ウォーマ付き)すること等を決定した。
◆財源は信徒会会計にもとめる(30万円台)

11．パソコンを購入したい旨の提案あり
(会計、名簿管理の為)：鈴木さん調査

12．二俣川教会聖歌隊への参加：
いろいろ課題提起あり（レベル差など...）

13．中和田教会の「ゴム印」購入の件：
タテ、ヨコ両方購入すること決定。

以上

婦人会だより　＜12月18日(日) 37名出席＞

1．委員会報告

2．聖歌の練習について
石井さんよりミサ後練習するので御協力下さいとお話があった。

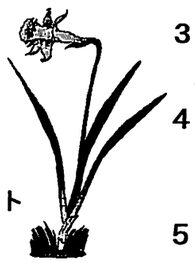
3．中和田教会ボランティア
福祉大会での賞状と絵皿を見せていただきました。

4．神父様へクリスマスプレゼント
図書券を差し上げました。

5．お見舞い等
花坂さんが入院されましたのでお見舞いを、また森脇さんが女児出産されましたのでお祝いを差し上げました。

6．三角巾をつくります
教会で調理する時お使い下さい。

7．お花の花器を購入しました。



8．特別会計よりの寄付について
シャロームの家、いのちの電話、ルワンダ支援、旅路の里、奄美の里、かにた、フマニタス、カリタスジャパンに、計11万円の寄付をしました。

9．クリスマスミサ後のパーティ
婦人会では、豚汁と果物を出します。

10．平成7年度新役員紹介

会長 ：	阿部映子さん	(B地区)
副会長：	望月ふみ代さん	(C地区)
書記 ：	中町扶美代さん	(C地区)
書記 ：	萩原幸子さん	(B地区)
会計 ：	佐々木靖子さん	(A地区)
会計 ：	位田裕子さん	(D地区)
典礼 ：	八乙女すみ枝さん	(D地区)
典礼 ：	川原葉子さん	(A地区)

11．新年会
1月15日(日)11時のミサ後に行います。

12．カーテンについて
集会室のカーテンを婦人会で協力して作ることになりました。

13．来年度の掃除当番表 記入して下さい.

14．いのちの電話　映画会紹介
「天使にラブソング」関内ホール3月10日(金) 2:30～6:30 ¥1,300 阿部映子さんまで

15．役員挨拶
皆様1年間ご協力ありがとうございました。来年度の役員の方々、頑張って下さい。

[次回例会は1月15日、お当番はA地区]

壮年会だより　＜12月18日(日) 12名出席＞

1．委員会報告

2．クリスマス(12/24)手伝いの件
二俣川教会の信徒参加等、例年に増して混雑が予想されるので主に自家用車誘導係及び御聖堂内案内係に壮年会として協力することを申し合わせた。

3．クリスマスプレゼントの件
例年の通りクリスマスケーキを子供達にプレゼントすることにした。

4．平成7年度壮年会役員の件
次の方々に決定した。
会長 ： 井上　　副会長： 橋
書記 ： 美底　　会計 ： 石井伸

5．平成7年度新年会の件
平成7年1月15日(第三日曜日)
9時ミサ後　例会を兼ねて
詳細は追って掲示。

以上

編集後記　今年は私も年男でして、何事にも突進して行きたい　と思っています。
(E. I.)

今月の予定

元旦ミサ　1月1日
委員会　1月8日
壮/婦新年会　1月15日
信徒総会　1月29日
レジオ　1月13, 20, 27日

第199回
カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
Tel. (045) 803-6141
1995年 1月 8日

かの年の秋のこと

山崎 正俊

秋の終り頃になると、大江さんのことと、作曲もできるように成長されたお子さんのことが、たびたび、新聞に報じられるようになった。そのお子さんの名は「光」(ヒカリ)ですが、お父さんではなく、お子さんのほうに賞をもらうことになったという思いちがいが、はじめにはあったそうな。

受賞の日が近くなり、父と子と母の三人が御一緒され、光さんによりそうようにして、その腕を支えておられる大江さんは、お子さんの介助の人でもあるかのようだ。

はじめのコンサートで、光さんが中心になり、主役であるのはあたりまえです。ノーベル賞を受けるはずのお父さんは、光さんの陰の人であり、話題は光さんのことに集中しており、その国の言葉に移されている著書は、大書店の目立つ場所に山積みされ、人々の求めに応じて売られているのに、光さんを前面に押し出しているお父さんは、そのために生命を与えられた者に徹する愛情にひたっておられるので、その作品とその中で強調されているものが、より深く印象づけられることになったように見える。

親とは、その子に何かの夢を託する者なのかということを、これほどハッキリと見せつけられたのは、はじめてのことで、その隣には、母の影もあるはず。実際に年老いての気力体力ともに弱まり、これまで気楽にできたことを、よほどのコンを詰めねば、思うにまかせぬので、よけいに、「健三郎・光」の後ろ姿にその母の形がないまでも、ウルワシサがあり、誰にもそのことがわかるほどの、これは、父の作品の索引でもあった。

意外なことは、其の処で目立って受け入れられていた曲が、それを演奏する人の達した技術や才能、解釈や心組みよりは、作品に秘められた作者の思いのありようが、まわりの人の胸々にひびくものになっていたということで、私には、それが小品であるだけに、それと気付くや瞬時に、消え去るもの。

いまも、これからも同じように、ヨーロッパなどで、もてはやされるであろうクラシックが、騒音でしかないのに、光さんの曲がそれとは別のところにあるようなのは、そのビデオなどで接した映像の、暖かい雰囲気がただよわせているもののせいか。それで、私には何もわからないのに、クラシックに続くものと評されるらしくても、ジャズやポップスなどの身近さを持つものとなった。

私の好奇心は、そのお父さんの(いまのところ)結びの作品(である)かもしれないものに、やっとたどりつけたところで、その子である光さんに反応するらしい喜びをとおして増幅されるそのお父さんの思いに、感心しているものかも知れない。

初　め　て　の　こ　と

福島　清

□「ルルルル・・、ルルルル・・」はい、福島ですが。◇こんにちは、清水です。□清水さん？◇ええ、教会の清水です。□ああ、委員長の清水さんですね、いつもお世話になっております、で、何でしょうか？◇じつは大変困っておりまして、今の財務委員がお仕事の関係で、できなくなりまして、なんとか、やって貰えんでしょうか。・・・・ いや駄目です、困りますよ、会計なんて、飲み会の会計位しかやったことがありません、ほかに適任者がいっぱいいるではありませんか・・・・ 抵抗のあげくに、説得力のある委員長に、こりゃやるしか無いなーという気にさせられてしまいました。家内に、経験の無いことを引き受けて、本当にできるの、と言われなんとも心細いスタートでした。

はじめての事ゆえに、いろいろと憶える事が多く、また間違えることもあり、あっというまに一年が過ぎてしまいました。

神父さまの入院があり、また建設借入金の返済、クーラーの設置、集会室階段の手摺の設置、香部屋の改修など、まとまったお金が動く度に、年度末に赤字にならないだろうか、と心配でしたが、初心者の私が心配する以上に、神父さま、委員長、各委員が深く考えておられ、年度末の収支がなんとか収めることができました。ほっとすると同時に感謝の気持ちでいっぱいです。

私が勤めている自動車の部品会社で、海外からの輸入品の安い価格に対抗するため、30%以上の原価低減をめざして活動を始めている。長年積み重ねてきたやり方ではとても達成することは困難であり、「改革」をキャッチフレーズにして、社長が先頭にたち各活動を引っ張っている。一例に、開発、購入、生産、販売の全部門でムダと思ったらやめてみる、良いと思ったらやってみる、やってみて何かが起こったら手を打つ、と言うことをやっている。新しいことが提案される度に、長年の経験の壁が立ちはだかり、ついこんな問題があると言ってしまう、その点、若い人たちは、どんどんやってしまう、若い人に引っ張られて、「改革」は若者によって成し遂げられる、ということを実感している。

新しいことを始める時、経験(馬齢)と共に、つい出来ない理由を考えるようになってきた、今からこんな事では先の長い人生を楽しむことは出来ない。初めてのことは、失敗はつきものであり、格好良くできるわけがないと、割り切って(難しいんだなー ”これが”)新しいことに挑戦する積もりでいる。

初夢　今年の夏は信州、白馬岳の麓で、パラセールで空を飛ぶこと。

ミサ 当番表（1、2月）

月／日	主日	第一・二朗読,奉納	オルガン	備考
1／1	神の聖母マリア	位田	美底	壮年会
1／8	主の公現	青　年　会	石川	青年会
1／15	年間第二主日	婦 人 会　A地区	岩渕	婦人会
1／22	年間第三主日	小谷	大宮	壮年会
1／29	年間第四主日	婦 人 会　A地区	美底	婦人会
2／5	年間第五主日	七浦	石川	壮年会
2／12	年間第六主日	青　年　会	岩渕	青年会
2／19	年間第七主日	婦 人 会　B地区	大宮	婦人会
2／26	年間第八主日	冨田	美底	壮年会

※当番の方は10分前には集合して下さい。
※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。（萩原：TEL 802-6258）

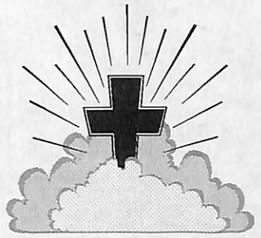
公　示

カトリック中和田教会運営基準に依り
信徒総会の開催をお知らせします。

日時場所
一九九五年一月二十九日　九時ミサ後
新集会室一階

一九九五年一月八日
教会委員長
清水　聖

95年度 役員の方々の御挨拶



❑ 教会委員長　　清水 聖

教会の皆様新年おめでとうございます。

去る'92年に委員長をお引き受けした際に小生がご大層に「微力ですが21世紀に向かっての教会作りに進みたいと思います。イソップ物語の兎と亀のお話ではありませんが、いそがず、あわてず」云々と「なかわだ」に書いた事を恥ずかしく思います。

時間の方は待ってくれません。私たち小教区でも、宣教、家族、環境、福祉、老人、医療、青少年、等諸問題を抱えて21世紀にどんどん進んでいます。委員会の仕事に手を染め、やっと教会運営が理解できる様になりました。今更ながら先輩諸氏のご苦労に敬意を表します。

昨年は中和田教会献堂20周年に当たり教会にとって一つのけじめと云うか脱皮の年ではないかと考えられましたが、20周年記念パーティー、信徒名簿の発行をしました。しかし中身はともあれ入れ物(建屋)の老朽化により、委員会、神父様のご承認を受けまして、①新集会室2階への手摺取り付け ②香部屋天井壁の修復 ③お聖堂屋根塗装 ④お聖堂及び幼児室に冷暖房機の設置 ⑤収納庫の新設(信徒会会計) ⑥男女トイレの改修工事(信徒会会計) 等々各種改修工事を行いました。

新しい年を迎え私たちは先に掲げた沢山の諸問題を抱えています。山崎神父様のご指導を受け教会の皆様元気良く力強く一緒に歩きましょう。

❑ 壮年会長　　井上 昭男

あけましておめでとうございます。1995年が会員皆様方にとって良い年であるようお祈り申し上げます。

さて今年より私が壮年会会長をやることになりましたのでよろしくお願い致します。

教会も昨年は聖堂内にクーラが入り、またプレハブ式の物置小屋も設置され、教会内の整備も着々と進んでいますが、建物の老朽化に伴い今後どう対応していくか、また若い人達の教会離れ等問題は多くあります。私も今年は要理学校、町内会役員、壮年会会長と三つも重なり、はたして前会長である宮崎さんの様にやっていけるかどうか不安ですが、私の地である明るく笑顔でチャレンジ精神をもって、やって行きたいと思います。しかし何事をやるにも会員皆様方の御協力なしではやっていけませんのでよろしくお願い申し上げます。また副会長を橋さん、会計を石井(彰)さん、書記を美底さんが担当されますので、よろしくお願い致します。

❑ 婦人会長　　阿部 映子

今年は、年女である私が婦人会のお役をやらせていただくことになり、記念すべき年になりそうです。

テレビドラマでこんなのがありました。”かたくり”の花は、7、8年に一度しか咲かないそうですが、花や茎は枯れても、根は決して腐らない。その間根をしっかりと張り、栄養を貯え次の花が咲く準備をしているそうです。これは、丁度親子関係と同じだというのです。親が子に沢山の愛情を与え、子はそれを貯えて成長していく。その愛情が大きければ、どんな困難・悪にも負けない力が備わっているはずだというお話でした。

信仰もその通りだと思います。苦しいこと、それを乗りこえて踏まれても、踏まれても、根は残る信仰。年月がたつにつれ、心の財産として、大きく大きく成長していくのだと思います。婦人会で活躍することによって少しでもその心の財産が増やせたらと思っております。

一年間、どうぞ役員一同への御協力をお願い申し上げます。

カトリック中和田教会 自衛消防隊

平成7年 1月8日改訂

隊長 山崎神父

- 救護係：位田 義男／阿部 映子／望月 ふみ代
- 非常持出係：福島 清／石井 伸雄
- 避難誘導係：萩原 政弘／岩渕 英介／美底 昭司
- 初期消火係：井上 昭男／橋 幸雄／小野 雅彦
- 通報連絡係：清水 聖／花坂 洋一

お知らせ

3月1日は灰の水曜日です。
ミサ； 夜7:00〜

2月5日〜26日に昨年の枝を集めますのでご持参下さい。聖堂の入り口に段ボール箱を用意します。

ミサ 当番表 (2、3月)

月／日	主日	第一・二朗読,奉納	オルガン	備考
2／5	年間第五主日	七 浦	石 川	壮年会
2／12	年間第六主日	青 年 会	岩 渕	青年会
2／19	年間第七主日	婦人会 B地区	大 宮	婦人会
2／26	年間第八主日	冨 田	美 底	壮年会
3／5	四旬節第一主日	小 野 寺	石 川	壮年会
3／12	四旬節第二主日	青 年 会	岩 渕	青年会
3／19	四旬節第三主日	婦人会 C地区	大 宮	婦人会
3／26	四旬節第四主日	宮 崎	美 底	壮年会

※当番の方は10分前には集合して下さい。
※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。（萩原：TEL 802-6258）

祝 創刊200号 編集後記

中和田会報も早19年目を迎え、**第200号**を刊行することとなりました。これを記念してこれまでの歴史をごく簡単に振り返って見たいと思います。

76年5月： 第一号発刊。広報委員は福島さんと佐藤さん。ガリ版刷りで、ご苦労がしのばれます。現在壮年会委員の石井伸雄さんが初聖体を受けられたという記事が歴史を感じさせます。

78年1月： 広報委員；七浦さん（20号〜）

80年10月： 広報誌（47号）が手書き、ゼロックスに変わる。

82年1月： 広報委員；宮崎（佐）さん（62号〜）

83年4月： 74号から山崎神父様が寄稿されるようになりました。

86年1月： 広報委員；石井（三）さん（102号〜）

86年頃： 広報誌がワープロ作製に変わる。（縦書きスタイル）

88年頃： 広報誌が現在とほぼ同じ横書きスタイルに変わる。

94年1月： 広報委員；岩渕（190号〜）

これからも一層内容を充実させるために皆様の積極的な御投稿をお願いいたします。

(E. I.)

今月の予定

委員会	2月5日
壮/婦新年会	2月19日
聖歌の集い（山手教会）	2月26日
サロン	2月12, 26日
レジオ	2月10, 17, 24日

第200回
カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
Tel. (045) 803-6141
1995年 2月 5日

ケガの一周年目 （上）

山崎 正俊

気が付いたら、一月の月修の日には、昨年末の日付けの信徒総数をまとめて、その異動と共に報告しなければならない。これはたいへんだということで、資料を積みあげたりして、前年にした報告書と付き合わせながらの計算となった。報告用紙はすぐ見つけられるようにと、本棚のきめたところに置いてあるので、こんどばかりは迷うことなく、並べることができても、やっぱり、思ったとおりの数え間違いだけはしてしまった。以前のものは、前年度の総数を記した次の行から、受洗者の数、転出入は同じ教区内と別の教区のものとの数を分け、葬儀は行った数だけ、だまったまま何処かへ消えていった数、という具合に男女を別々にして並べて置き、ついで差し引きした最後に、現在の在籍者数となっていたので、私にとっては易しい計算だった。

ところが、日本中のカトリック信徒の総合計数をまとめるにあたっては、いろいろとはっきりしないところが出てきたらしい。各宗派で、自派に属する者の数をまとめると、日本の国民の数は、政府のまとめたものよりも数倍の多きになる。生まれると戸籍係にとどけられることになるが、届け出があまり遅くなると罰せられることになっている。それにはそれなりの理由があっても、こんなことで叱られるなどバカらしいというわけで、きちんと習慣に従って結婚式をすませているのだからと、私のものなど、生まれてから約二ヶ月も遅れており、生まれた日は結婚の届け出の次の日付けにされている。正しくは二月七日ではなく、前年の十二月十一日だったと、小学校の五年生になって手にした日本の地図帳の関東地方の頁の片端に、何処其処で何年何月何日の朝方に生まれたと、父が正確に書き付けてくれたのを憶えている。とにかく生まれた日を届けておかないと、生まれて生きていたのに、その記録がないので何処の何者であるのか認められず、その年になっても、義務教育を受ける手続きもむつかしく、日本の法律によっての保護が受けにくいだけでも、わけが分からないことになるらしい。それに両親の結婚の年月日も届けてなければ、その子が生まれましたということも理屈に合わないらしく、国の方では、どうにもならぬことになるという判断になるそうな。そこでそういうことにならないように、正確なものにしたいという考えは数えかたに誤りがはいらないようにということで、突然のあたらしい方針での規則が作られ、以前には考えられないようなことになってきて、私は困るが、いくら困ってもほっておくわけにはいかないので、すこしばかりのアイマイさはそのまま、教会では見過ごしにされることになるのか。

山頂にて

井上　昭男

私も学生時代には山がすきで、山岳クラブに入りいろいろな山に登りました。山に登って最大の楽しみの一つは、山頂からの展望だ。休憩をかねて涼しい風にあたりながら展望を楽しむ。地形図を片手に、まわりの山々の名前を確かめる。思いがけず、遠くの山を見ることもあれば、ガスがかかってほとんど何も見えないこともある。

日の出の時の山頂もすばらしい。みんな早く起き出して、山頂へ急ぐ。赤く染まり始めた東の空を注目している。雲海からの御来光の荘厳さは、何物にもかえがたい。

山頂に登ると様々な看板が立っている。地元の方々がもうけた案内板もあれば、登山者のグループが記念に置いたものなど、山の名前と標高を書いた札が数多く林立しているのが通例だ。長年の風雪にさらされて、朽ちたり倒れたりしているものも少なくない。

そのにぎやかな看板の中に、深く大地に根をおろした御影石を見出すことがある。よく見ると、一等三角点、二等三角点などの等級が書いてある。古いものになると風化して字がよく読めなかったり、四角柱の頂点が丸くなっていたりする。この標石が、山の位置や高さを測る基準点となっているのだ。

空中写真による測量でも、地上での実測でも地図を作製する際のベースとなるのが、この三角点である。登山をする時、旅行をする時等地形情報はなくてならないものである。現在では誰もが、全国の地形図を自由に手に入れることができるようになっていることは、すばらしいことである。

二十一世紀に向けて、生活大国づくりに取り組んでいる現在、三角点の点の字(點)となっている苔むした標石を見るたびに、世界平和と、この自然がなくならないようにと、願ってやまない。

平成7年度 信徒総会報告 （速報・・・正式詳細報告は別途）

1月29日(日) 約40名出席　於 新集会室一階

1. **神父様御挨拶** （中和田教会の現状）
2. **清水委員長御挨拶** （7年度委員は留任、前年度設備改善、行事などの報告）
3. **財務関連報告 （福島氏）**
   - ◆平成6年度決算報告、会計監査結果（七浦氏）・・了承
   - ◆平成7年度予算案・・一部再検討事項あるものの概ね了承
4. **一粒会報告 （小谷氏）**
5. **信徒会決算報告 （宮崎氏）**
6. **平成7年度行事予定 （清水委員長）**
7. **宣教委員会新委員について （清水委員長）**
8. **質疑**
   - ◆愛の献金の運用方法についての提案 （寄付額の変更、剰余金から被災地への義援金）
   - ◆月定献金の状況について （口数、平均金額など）
   - ◆建設会計の意義 （数年に一度の大きな修理に備える積み立て金的性格）
   - ◆委員会構成員 （壮年会、婦人会からの出席者も委員会構成員であることの確認）

委員会だより

＜1月8日（日） 14名出席＞

1. **財務報告(福島委員)：**
   (1) 1994年度決算報告 ⇒ 委員会了承。
   (2) 1995年度一般会計予算案審議
   内容:収入合計 \6,073,484
   （内、前期繰越金 \1,273,484）
   支出合計 \6,073,484
   次年度繰越金ゼロの苦しい予算だが、苦しい中でも、建設積立金は\300,000を確保する様、支出予算編成を修正する。
2. **委員留任：** 委員は全員留任で、任期は1995年末迄。
3. **信徒総会：** 1月29日9時ごミサ終了後、新集会所1Fにて開催。(1/8付で公示済み)
4. **1995年度年間予定表案：**
   - ◆信徒会主催のバザー、卓球大会を表中に入れる。
   - ◆未確定は、山崎神父様日本鉄道カトリック会ご出張。
5. **教会と隣接地との境界について：**
   隣接地地主からの申し入れで、11/29に立会い測量が行われたが、教区から事務の山本氏も参画した。結果として教会のフェンスの一部がひっかっかること確認。今後、地主から話し合い要請のあった場合には教区（山本氏）に連絡し、対応を指導願うこととする。
6. **鍛ケ谷教会献堂式：**
   1/26に行われ、当教会からは花坂副委員長が参列する。
7. **95年度自衛消防隊メンバー更新：**
   壮年会、婦人会の役員改選に基づき更新。
8. **聖歌の集い(2/26;於山手教会)：**
   - ◆石井委員より、積極参加の呼びかけあり。(特に男性)
   - ◆小谷氏にハーモニカ演奏をお願い中。
9. **「良いこと」を継承していく仕組みについて：**
   - ◆清水委員長から課題提起あり。
   - ◆要理学校の問題（日曜日に子供が出てこない）・・・親にお願いするしか解がない？
   - ◆皆さんのよい知恵を！！

以上

壮年会だより

＜1月15日（日） 14名出席＞

9時ミサ後ザ・ラウンジにて総会および新年会を行いました。

1. **会計報告**
   上野会計幹事より報告され承認された。
   平成6年度　収入　208,610円
   　　支出　42,395円
   　　残高　166,215円
2. **平成6年度壮年会行事報告**
   宮崎会長より報告されました。
3. **平成7年度新役員**
   新役員が紹介され、代表して井上会長が挨拶しました。

総会後新年会が行われ、カラオケ等でたいへん盛り上がりました。なお、会費から新年会補助として、16,000円支出致しましたので、御了解願います。

以上

婦人会だより

＜1月15日（日） 40名出席＞

平成7年の婦人会新年会をお聖堂にて12:30より行いました。

1. **平成6年行事報告および会計報告**
   承認された。
2. **平成7年の行事計画について**
   - ■バザー （昨年同様行うことを委員会においても確認済み）
     - ◆10月29日（日）の予定
       バザー委員 ⇒ 阿部会長、望月副会長、位田委員
     - ◆バザー奉仕日　2月の例会において決める
   - ■おむつ縫い
     地区別当番制にせず、独立した奉仕会とする。リーダーを井上さんにお願いする。
   - ■遠足
     候補地については今後皆様の意見を聞いて決めていきたい。
3. **昨年よりの申し送り**
   電気釜 ⇒ 3升炊き 2台 購入
   応接室、集会室のカーテン新調
4. **余興**
   竹田さんのハーモニカ伴奏で井上さんはじめロザリオの祈りの会の方達の歌とクイズ
5. **聖地巡礼のお話**
   甲斐さんより聖地巡礼に参加された時のおはなしを伺いました。・・・「信者さんであれば一度は聖地巡礼をお勧めします。」

神父様よりお話がありました。

3時30分 なごやかなうちに新年会を終了致しました。

[おねがい]

お聖堂の前の廊下に地区別表、連絡網および当番表が置いてありますので、ご自分のを持っていってください。

壮年会だより

＜2月19日（日） 14名出席＞

1. 95年度年間行事予定表（案）

1/15:　総会及び新年会
2/19, 3/19, 4/23, 5/21, 6/18 ：壮年会例会
7/16, 9/17, 10/15, 11/19, 12/17
4/15:　大掃除
4月下旬:　ハイキング
8月中:　卓球大会
（委員会行事，壮年会支援）
10/29:　バザー
11月下旬:　ハイキング
12月下旬:　餅つき
庭の手入れ:　滝川さんと日程を決定

（敬称略）

3月	甲斐	7月	小野寺	12月	宮崎
4月	七浦	8月	小谷	1月	石井(三)
5月	萩原	10月	小野		
6月	清水	11月	橋		

2.「なかわだ」寄稿者

3. 財務委員:　壮年会から1名出して欲しいとの要請あり（甲斐さん候補）。

4. 位田さんが青少年にアンケートをとる.教会へ気持ちを向ける足がかりとして。

以上

婦人会だより

＜2月19日（日） 30名出席＞

- 阪神大震災で被災された方々のために一日も早い復興を願いお祈りしました。
- 今年から婦人会の代表として委員会に会長が出席します。
- 集会室、応接室のカーテンがとりつけられました。
- 3月23日、横浜カトリックセンターで婦人同志会の総会が開催されます。出席者は阿部会長まで。
- おむつ縫いの日程
  毎月第一土曜日10時から作業します。ご協力をお願いします。
- バザーの奉仕日
  3月から第二火曜日（3/14）、第四水曜日（3/22） AM10時～PM3時まで。
  奉仕日に持参するものは掲示板でお知らせします。作品等のアイディアがありましたらお知らせ下さい。
- 遠足の件
  行先:　真鶴、美術館
  日時:　5月下旬の予定
- 谷口様の電話番号が変わりました。
  (Tel. 804 - 4011)

以上

お知らせ

- 洗礼　2月19日 ペトロ 下迫（しもさこ） 桂祐（かいすけ）（松下さんのお孫さん、94.11.30生まれ）
- 転出　マリア・セシリア 高橋 訓子　〒191 東京都日野市程久保4-7-14　Tel. (0425) 92-2463
- 赦しの秘跡　3月26日　鵜飼神父様
- 聖週間　4月13日～15日 PM8時～
- 春の大掃除　4月15日(土) AM10時～ 壮年会、婦人会の御協力を!
- ご復活祭　4月16日 AM10時～ 御ミサ、御ミサ後パーティー(持ち寄り)

ミサ 当番表（3、4月）

月／日	主日	第一・二朗読,奉納	オルガン	備考
3／5	四旬節第一主日	小野寺	石川	壮年会
3／12	四旬節第二主日	青年会	岩渕	青年会
3／19	四旬節第三主日	婦人会 C地区	大宮	婦人会
3／26	四旬節第四主日	宮崎	美底	壮年会
4／2	四旬節第五主日	岩渕	石川	壮年会
4／9	受難(枝)の主日	青年会	美底	青年会
4／16	復活の主日	婦人会 D地区	大宮	婦人会
4／23	復活節第二主日	小野	岩渕	壮年会
4／30	復活節第三主日	婦人会 D地区	石川	婦人会

※当番の方は10分前には集合して下さい。

※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。
（萩原：Tel. 802-6258）

今月の予定

灰の水曜日　3月1日
委員会　3月5日
赦しの秘跡　3月26日
サロン　3月12, 26日
レジオ　3月10, 17, 24日

第201回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
Tel. (045) 803-6141
1995年 3月12日

ケガの一周年目（下）

山崎 正俊

まだ頭の調子はいくらかまともであった昨年の始めでさえ、正確さに自信がなかったのに、この頭を地球にぶつけてから、一年老いた以上にも、その働きが衰えている。出来上がったと思ったあとで、数え忘れていた人のことを思い出したり、守ってもいないことや、どこか遠くのほうにその家族のうちの誰かが行ってしまったことに気付いても、そのようなことを届ける必要性を認めてもらえなかったり、調べようがなく、発見しそこなったりしてしまい、信仰は本人のことにされ、何処にいたのか突然あらわれたりで、総数などは「よいカゲンのもの」のはず、数にこだわらなくても、目の前をチラチラと行ったり来たりする人（これは失礼な言い分です）があれば、それだけでも他に手が回りかねるということになってしまう。先輩などからもっともらしい理屈をつけて、軽くきめつけられればどうにもならぬ。「あ、そうですか。」と返す言葉の出しようもない。

こんな打ち明け話をしたところで、どうなることでもないけれど、これまではどうにかなって来ており、そのはじめはぼにゃりしたままで、中途はあちこちが抜けており、もとにもどすための理論はあっても、それだけではどうにもならないことだから、わかったところで、解決には程遠しか。

さて、出来あがったものを、月修の日に持ってゆく袋に入れて、ほっとしたところで、昨年の暮れの二十日頃に受け取った漱石全集の小品集を見つけた。一月は休みで、二月にはいると次のものが出ることになっているとかで、その「文学論」で中止にしようかな。

十二月の月報から眼をとおした。夢語りに出てくるふたつの地名についての追究が、だらだらと牛のヨダレのように続いたあと、短いものがいくつかあって、なぜか、終わりまで読まされてしまった。こんな内容のないものをよくも書いたものだという印象。この弟子たちのほうが、優れた書き手のようなのに打たれた。それでも、この五十才そこそこで世を去った英文学の大先生がものされた余技の小品集・しばらく遠退かされていたものが、この私を引き寄せ、時間を忘れさせて心をときほぐしてくれたのには、アキレた。巻頭のものは、先生のロンドン留学中のみじめったらしい日記風で、「ホトトギス」に送られたもの。その初稿と後に書き改められた第二稿とは、例によってそれほど内容のあるものでもないが、弟子たちを捉えて離さないらしい何かを感じさせる。ひと仕事したあとの、いささかの疲れが残っていることとて、この私の小文は尻切れトンボになったまま。それでも、ミヒャエル・エンデさんに就いての小伝を読まねばという気がしている。

聖地を巡礼しました（1）

甲斐 至信

ハヤット神父様を団長とする「心のともしび聖地巡礼」ローマ・イスラエルの旅に昨年末に参加しまして、13日の間聖書に語られている聖地を訪れ、2000年前イエズス・キリストが、歩かれた道、祈られた場所、教えられた会堂、話された丘など、まさに聖書の世界を神父様のお話と共に、当時に思いをはせながら、毎日祈りのなかで巡礼を続けてきました。

今回の巡礼は、第38回目になりまして、毎年2回行なわれているとのことで、同様の催しが20年近く続いていることになりますが。ほぼ最初からハヤット神父様が指導されているそうです。

最近でこそイスラエルの国情も安定してきましたが、20年の間には、危険な紛争地域でもあった所ですから巡礼を続けるには、ずいぶんと困難があったこととおもいます。

毎回40名程度の参加者があったようですが。今回私達のグループは20名で巡礼としては、まとまりのよい最適な人数でした。

ハヤット神父様、聖心の布教姉妹会のシスター方5名、それに各地からの参加者ですが、未信者の方も1名参加されました。

巡礼中は毎日ごミサにあずかり、移動のバスの中では、ロザリオを一連唱えました。最初のごミサは中継地のオランダ空港のご聖堂でしたが、乗り継ぎ時間に空港でごミサにあずかれるのも、さすがヨーロッパでしょうか、成田空港にはたぶんお聖堂はないと思います。

搭乗時間14時間30分やっと目的地ローマに到着、ローマ時代の中心広場フォロ・ロマーノの近くのホテルに宿泊。3★位のところで、巡礼にはふさわしい質素なホテルですが、日本人御用達という感じで、研修旅行の大学生とか、早めに年末休暇をとって、グループできているお嬢さん方などで朝食時は賑やかで、右も左も日本人ばかりでした。いろんな国の人たちが一緒に食事をしているホテルですと、海外に来たなという気分ですが、この雰囲気では、ここは本当にローマ？でした。

巡礼の第1日はローマから始まりました。そこは皆さんも写真などでよくご存じの遺跡コロッセオ（コロシアム）です。いまここは観光だけの遺跡になっていますが、かって300年近く続いた迫害の時代に多くのキリスト教徒が、信仰を守るため犠牲になったところです。キリスト教ゆかりの遺跡なのです。

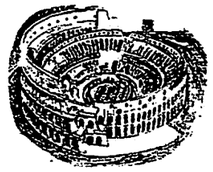
70年ごろ、広大なローマ帝国のエネルギーは帝都ローマに集中し、人々の血はたぎってはけ口を求めていました。支配者は、それを戦車競技であるとか、剣闘などの流血試合に熱狂させることで、民衆をあやつり政治を安定させようとしました。また64年ネロ帝の時代に、ローマの殆どが灰塵に帰した大火災の後の、混乱から抜け出る必要からも、競争場、闘技場、劇場がローマだけでなく属州各地に建設されました。

映画「ベンハー」や「スパルタカス」「ポンペイ最後の日」などの、お馴染みの場面ですが、民衆は残酷な流血競技に大熱狂したのです。

ティトス帝は、70年エルサレムを征服し、10万人の捕虜をローマにつれてきました。その内の4万人がコロッセオをわずか8年で造ったのです。この巨大な円形競技場は6万人の観客を収容できそして、剣闘士の戦い、野獣狩りなどのショーが行われました。捕虜となった兵士は、奴隷として売られるか、公共事業に使われるか、剣闘士として戦いました。剣闘士の戦いには、アレーナに砂がしかれ、野獣狩りには、茂み、樹木、小山などの装置が置かれました。

初期のキリスト教徒たちは、迫害を加えられ、捕らえられ、ローマ人の楽しみのために、野獣狩りの時にライオンの前に投げ出されました。そして多くのキリスト教殉教者の血が、ここに流されたと言われています。

床の下には、野獣の檻、出番を待つ剣闘士の部屋、ショーを盛りあげる仕掛けのリフトなどの設備があった。暑い日には、日差しを避けるために、中央に円形の窓の開いたカンハスの屋根を、海軍の兵士がドームの天井に張った。



周囲527M、高さ57M、4層で貴賓席・貴族軍人席・一般市民席・天井桟敷が設けられ、周囲には、80の入口があり人々は自分の入場券に記された番号の入口から入場しました。

教皇パウロ2世は、聖金曜日の夜には、このコロッセオで殉教した、多くのキリスト教徒のために十字架の道行きをされます。コロッセオの廃墟のなかから出発し、ローソクを手にした信者の群れのあいだを抜け、松明の火に導かれ、＜十字架の道＞をたどり、教皇、御自身で重い木の十字架を運び続け、何時間もかかって隣の丘の上まで、のぼられながら各留で祈られます。そして終わりに大勢の人々に向かってご説教をされるのです。

第1回　おわり

委員会だより

＜2月5日（日）　12名出席＞

1. 財務報告：
（1）1月度決算報告　資料配布説明→委員会了承
（2）「愛の献金」残高の取扱いについて：
信徒総会でも話が出たが、一般会計の窮状にも鑑み当面（義援金に組入れず）据え置く
（3）財務委員増員（委員会で福島委員が提案）の件：男性側より選任する方向で検討を進める。

2. 宣教委員会、一粒会各委員の教会委員会出席： 恒常的にご出席をお願いすることではなく、必要事項の発生の都度、出席願うこととする。

3. 阪神大地震義援金状況： 2/5締切り
1/20　神父様　\40,000　2/5　神父様　\30,000
1/23　募金　\109,520　2/5　募金　\12,083
1/30　募金　\73,850　■合計■　\265,453
・全て、横浜司教区に送られ、そこから大阪司教区に送られる。使途は、全て大阪司教区に一任。

4. 鍛ケ谷教会献堂式： 1/29に挙行され、花坂副委員長参列。素晴らしい御聖堂の由

5.「聖歌の集い」（2/26於山手教会；石井委員）
◆15名参加で申し込んだ。
◆まだ申込13名なので、奮って参加の程を

6. 二俣川教会の動静：
◆4/3献堂式予定が5/3に延びるとの情報ありご復活ミサ、及びパーティの都合もあるので、鵜飼神父様に確認する。（注：委員会終了後、鵜飼神父様に確認したところ、二俣川としては、とにかく聖週間までに工事を間に合わせる方向で注力中の由）

7.「青少年の問題」の件：
◆本日（2/5）も、要理学校生徒の出席がなく、開けない状態が続いている。
◆「青少年対策を考える会」報告（1/22会合開催）：
（1）とにかく、現状掌握を行う：
- 名簿作成中
- アンケート準備中（子供向/父兄向別々に）

（2）教区の活動状況：
- 雑誌"ジネセス"の発行（800部程出ている）
- 第4日曜日に教会学校開催（於カトリック・センター）
- 体験学習の機会をつくる
- 戸塚教会に若者が多いから、一緒になにか企画したら、とのアドバイスあり。

8. 旧集会室、事務室のレイアウトを見直す時期にきており、建設的意見を募りたい

9. 婦人会より、カーテンの寄贈（集会室、応接室）があります．有難うございました

10. 壮年会、婦人会代表者の委員会出席の件：
◆委員会は、ご出席頂く壮年会、婦人会の代表者の方々に、単なるオブザーバーとしてではなく、（委員会構成員として）積極的に建設的ご意見を発言頂く場であることを、改めて確認した。
本件は、1/29信徒総会にて提起された課題に対応する確認事項である。

11.「なかわだ会報」通算200号の刊行達成！今後も積極的投稿を、特に婦人会の方々にお願いする旨、岩渕委員の要請あり。

以上

典礼研修会に出席して

岩崎 好愛

去る2月11日、藤沢教会に於ける典礼研修会に、何人かの皆様と共に参加致しました。

テーマは、「求道者と典礼－共同体とのかかわり－」で、お話をされたのは、現在中央協議会の典礼委員会で入信式改訂の仕事に携わっておられる　(さかばやし) 神父様でした。

大阪教区事務所がお仕事の場でいらっしゃる神父様は、開口、先の阪神大震災の惨状に触れられ、声をつまらせる場面もありましたが、震災を「過越の神秘」ととらえ、失うことによって生き、失うことによって気がつくというキリストの死と復活の神秘を思い起こすきっかけとなったと話されました。

さて、求道者を入信に導く共同体の役割に焦点を当てた今回の研修で、神父様は、成人の入信を「ある共通の目的と価値観を共有する共同体のメンバーとなるまでの歩みと儀礼」として位置づけ、単に恵みを受ける手段としての秘跡に終わるものでないことを強調されていたように思います。

求道者は、神父様との個人的接触と同時に、共同体における信徒達の雰囲気に触れつつ、ミサを通して (特にことばの典礼を通して) ひびき合い、交わりを深められてゆくのであって、従って洗礼は、求道者個人の決断で受ける秘跡という意味で責任の主体は受洗者本人にあるが、同時に、求道者を受け入れる共同体も、共に歩み共に育つという意味で責任の主体であるということです。

一人一人お互いを大切にし、共にキリストのまなざしの下に集められ、深められてゆく共同体、常にそれを求め続けると同時に、私達は霊的旅をしていく中で、一人でも多くの兄弟姉妹を共同体の共に歩むメンバーとして迎え入れることができるよう、社会の中でキリストを生き、その証となるように努めていきたいものです。

お知らせ

◆転出　マグダレナ　高野・江津子　さん (婦)　福岡県春日市下白水1069-1 セゾン21-301
Tel. (092) 592-1448

◆転入　アグネス　末永　優子　さん　(1995.1.10生)　和泉町3682　A-101

◆結婚式　ピオ　下山　肇　さん　4月1日　山手教会

◆二俣川教会献堂式　5月3日　AM11時
尚、二俣川教会の方々は枝の主日まで当教会にいらっしゃいます。

◆叙階式　本柳師　4月29日　AM11時～　戸部　カトリック教会

◆春の大掃除　4月15日 (土)　AM10時～　壮年会、婦人会の御協力を！

◆ご復活祭　4月16日　AM10時～　御ミサ、　御ミサ後パーティー (持ち寄り)

ミサ 当番表 (4、5月)

月／日	主日	第一・二朗読,奉納	オルガン	備考
4／ 2	四旬節第五主日	宮　崎	石 川	壮年会
4／ 9	受難 (枝) の主日	青 年 会	美 底	青年会
4／16	復活の主日	婦人会 D地区	大 宮	婦人会
4／23	復活節第二主日	小　野	岩 渕	壮年会
4／30	復活節第三主日	婦人会 D地区	石 川	婦人会
5／ 7	復活節第四主日	滝　川	大 宮	壮年会
5／14	復活節第五主日	青 年 会	岩 渕	青年会
5／21	復活節第六主日	婦人会 A地区	石 川	婦人会
5／28	主の昇天	石　井	大 宮	壮年会

※当番の方は10分前には集合して下さい。

※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。
(萩原：TEL 802-6258)

なかわだ会報 4月号
第202回
カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
Tel. (045) 803-6141
1995年 4月2日

今月の予定

委員会	4月2日
枝の主日	4月9日
復活の主日	4月16日
レジオ	4月21, 28日

あ わ せ 鏡 ①

山崎 正俊

大江さんの講演集を見ていたとき、ふと、二三日まえのことを思い出した。そのおばさんはとても誠実なおひとよしであるように見えていた。月修が、いつもより約一時間もはやく終わったので、そのお店に立ちよることにした。クリスマスのあとの日は休みになっていたから、ひょっとしたら、アウグスチヌスの著作集など出ているかもしれないし、他にも韓国のあの牧師さんのものも、一年にもなっているのだから、次のものがあるかもしれないなどという期待があった。ところが、どれもまだ出ていないので、何かのムナシサを感じた。あまり売れないものだし、訳出もむつかしいものだしする。出版社のほうも責任上は中止もできないだけに、ゆっくりかまえているのだと思うことにした。

あの、いまは亡き牧師さんの、私にとっては得難い「現場からの声」という小論の感動は、忘れることが出来ない内面的な転機にもなっていたものだったから、それだけこの店には、親しみを持たされていたので、「是非とも読んでいただきたいというようなものしか、仕入れないことにしているのですよ」といった言葉は胸にしみていた。

聖公会の或る司祭さんが、思いがけなく訪ねて来られたので、嬉しさのあまり、「現場からの声」について話はじめたら、そのようなことに就いて話すつもりはありませんと断られ、それ以来、年賀状を出す気もしなくなったなどと話し、そのことの理由(よきサマリア人についての説明のなかに、そこに出てくる強盗のことがあまり話されない不満について、私が驚いていること)を云ったらすぐさま、打って返すようにウフフと冷笑して、そこに並んでいた「ものみの塔」を批判したパンフレットへと話しは飛んだ。

「エホバの証人」の五十年配の先生が、その大学生ぐらいのお子さんと来られて、夕食の御弁当をわけあいながら、その反戦の意味についての御考えを話して帰られ、キリストの母・マリア様のことについては、予想していたように歯牙にもかけられなかったこととか、川崎市での教団の牧師さんには、めずらしくも、大きな聖母子像の額を会堂のナゲシのうえに掛けておられたことがあったなどとか話したら、「ものみの塔」の人たちは、御自分の子には同じことを信じ行うように教育しながら、他の教えは受け付けないように仕付ける習慣がおありになるとキメツケ、教団の先生たちは、他の仲間が何を主張していようと、直接には関わらないという暗黙の取り定めがあるようですと、それまでにはなかったようなツメタイ表情を見せられた。「お客さんのお話になることは、そのまま聞くことにはしていますけれど、ヒマがあってのことではありません。接客術のことです。」

聖地を巡礼しました（2）

バチカン訪問と教皇ヨハネ・パウロ２世の謁見

甲斐 至信

広い会場では、各国から訪れている人たちが、緊張と期待いっぱいの表情をしています。

教皇ヨハネ・パウロ2世がお出ましになるのを、いまやおそしとステージを見つめています。

巡礼第2日目は、バチカンを訪問しました。バチカン内の教会でごミサにあずかった後で、教皇の謁見、祝福をいただくためです。

謁見は毎週水曜日に、天気の良い日はサン・ピエトロ広場で行われます。そのほうが大勢の人たちに祝福を与えられるからです。しかし冬の間や雨の日には、＜パウルス6世記念謁見会場＞で行われます。この会場に入るには、3回ほどのセキュリティチェックがあります。来訪者は祝福を頂くために来ている人達ですので、危険人物はいないはずですが、1981年に定例の謁見中に群衆の中の一人によって、教皇は銃で撃たれるという残念なできごとがありました。ご記憶のこととおもいますが、このとき教皇は5時間にも及ぶ手術が必要だったほどの大きなケガで、回復まで数か月もかかりました。教皇は元気になられるとこの暗殺者を牢獄に訪ねたのです。この時二人の間でどんな話しが交わされたかは、いまも明らかではありません。

≪聖フランシスコは、人間は愛すべき兄弟であり、たとえ盗賊であっても、迫害者であっても、みな愛すべき兄弟として彼らに接した。≫と伝えられています。

教皇もこのトルコ人の暗殺者を憐れみ、キリストの愛を語り、神に彼の許しを願ったに違いありません。その後も教皇はひるむことなく、世界に向かって発言し、また群衆の中に入っては障害者や病人のために祈り、幼い子供に口づけし、信仰厚い者はもちろん、好奇心だけで来ている者にも、手を差し出し続けています。

訪問者は各団体ごとに指定された席に案内され、緊張のうちに開始を待ちますが、会場は1971年に建設されたもので、9000人が収容できる広大なもので、斬新なデザインと明るい雰囲気で造られています。

開始までの時間、それぞれ聖歌を歌うなどしますが、われわれはハヤット神父様の指揮で「あめのきさき」を合唱。周囲の各国の信者の方たちも唱和するという、国と人種を越えて同じ信仰を持つものが、共に聖歌を歌うという巡礼にふさわしい感動的な場面です。

いよいよステージに、4人のきらびやかなスイス衛兵が進み出て、所定の位置に付き、槍をかまえ休めの姿勢をとる。照明が、輝かしい瞬間の到来を告げると、教皇ヨハネ・パウロ2世がステージ左側から姿を現します。その歩き方は独特で、少し背をかがめて歩きます。テレビカメラが、教皇の歩みを追います。会衆のカメラのフラッシュが盛んに光ります。教皇は歓呼の声をあげる会衆に軽く手を振り、中央まで歩き、大きく十字を示し、全会衆に祝福を与えてから席に付かれます。

訪問者のグループが、それぞれ、フランス語、英語、スペイン語、ポルトガル語、ポーランド語、イタリア語、そして日本語などの、自国語で紹介されます。

教皇はそれぞれの国の言葉で、祝福のお言葉を述べられます。われわれにも、日本語で話して頂きました。訪問へのねぎらいのお言葉のほか、いくつかのお話の最後に、日本の信者の信徒使徒職のために祈ります。というお言葉で結ばれました。5分程の時間だったでしょうか。私達は立ち上がり用意していた日の丸の旗を振り、ハヤット神父様の先唱にあわせ「神に感謝」と応えました。

それぞれの国が、それぞれの方法で応え、スイスの信者は、素晴らしい男性コーラスでした。教皇は片手をあげて、それぞれのグループに答礼します。1時間にわたる謁見は感激のうちに終了しました。感激・興奮・緊張に涙を流している人もいます。最後に主の祈りを唱え、そして全会衆にもう一度祝福をお与えになり、教皇はステージを去っていかれました。

謁見の際に、各団体ごとに数名づつ直接謁見(ステージに上がり)が頂けます。われわれのグループから3名(内未信者の方1名)が幸運にも選ばれました。大変感激していました。

ところで、先に謁見場でのスイス衛兵についてふれましたが、バチカンには、スイス衛兵が100人いるそうです。彼らは教皇とその資産の警護を任されているのです。スイス衛兵は旧教皇軍の唯一の名残で、1506年に教皇軍はできましたが、教皇ユリウス2世はスイス兵の優秀さに感心し、当時スイスのいくつかの州に申し入れて、新兵を募集したという歴史があります。そのときの功績により数世紀に及ぶ現在まで、バチカンを警護する衛兵としての名誉が与えられているのです。

スイス衛兵はバチカン滞在中は、バチカン市国の臨時の市民となります。衛兵を志願する者は陸軍の退役者で、2年の勤務に付く時点で、19歳～30歳までの、＜良い家柄＞のカトリック教徒で、さらに独身者という条件までつくそうです。カッコイイので、いつもカメラの標的になっています。ローマの若い娘さんにたいへんもてるそうです。

第2回　おわり

ステージ中央で謁見する教皇とキリストを中心にした木彫りの巨大なモニュメントと警護のスイス衛兵

委員会だより

＜3月5日(日)　11名出席＞

[1]　財務報告：

2月度決算報告　⇒ 委員会了承。

[2]　お知らせコーナー：

(1)　2/14に第14回横浜教区典礼研修会が藤沢教会で開催され、中和田教会から11名出席。

(2)　2/26に山手教会で「聖歌の集い」が開催され、中和田教会より12名出席。指導も素晴らしく、次回には更に多くの参加を。

(3)　2/26に大船教会で第5地区宣教委員会が開催され、甲斐、丸田両委員が参加。中和田教会は、「青少年対策を考える会」の活動状況を報告。次回(6月)には中間報告をする。

(4)　婦人会より旧集会室、応接室にカーテンの献品が、また匿名の方より御聖堂内祭壇のカーテンの献品があった。有り難うございました。

(5)　「赦しの秘跡」は3/26に(鵜飼神父様)

(6)　「春の大掃除」は4/15(土).集合は10:00am

[3] お話し合いコーナー：

(1)　財務委員増員の件:
教会委員選出委員会(主任司祭、壮、婦会長)で甲斐至信氏を選出⇒委員会了承／承認

(2)　2/10に中田消防出張所より「予防査察結果通知書」を受け、2/27に回答書提出。対策は前出工機(株)に依頼(費用約\30,000)

(3)　浄化槽清掃の件:業者は大伸興業。費用は約3万円(前回清掃はH4-7-1)。4/16以降着工を依頼。

(4)　ご復活祭(4/16):
- ごミサの時間は、10:00am(徹底する)
- ごミサ後のパーティは「持ち寄り」で。
- 総合段取りは花坂副委員長に依頼。

★聖週間のごミサの時間: 8:00pm。
★「枝」の準備(70本)を、婦人会に依頼。

(5)　バザー(10/29)に向け、バザー委員会を発足。総責任者は清水委員長で、委員会から花坂さん、壮年、婦人会から各々3名、総合会計は甲斐さん、の構成とする。
- 壮年会に3名の委員選出をお願いする。(婦人会は阿部(映)さん、望月さん、位田さんの3名に決定済み)

(6)　二俣川教会献堂式へのお祝金は、これまでの経緯を踏まえて\100,000とする。

(7)　青少年対策を考える会:(2/26に会合;位田副委員長主宰)
- あせらず、ゆっくり進める。
- 3月中にアンケートを実施すべく内容検討実施。内容は1)関心度、2)教会との関係、3)来る為の提案が骨子で結果は4月に発表。

(8)　旧集会室のレイアウト:
- いろいろ意見を聞いて、壮年会、婦人会でそれぞれ「叩き台」をつくる。
- 山崎神父様に、本を片づけていただく。

(9)　その他の話題:
- 壮年会で、「壮年会」という名称に関する議論があった旨、紹介あり。名称のみならず、会のあり方、運営法まで遡った議論。
- 3/21に、大和教会で、ヨハネ・ボスコ　林大樹氏の叙階式が行われる。

以上

壮年会だより

＜3月19日(日)　8名出席＞

1. 3月度委員会報告

2. バザー委員選出　(バザー予定日10/19)
壮年会委員:　橋、鈴木、甲斐　各氏

3. 旧集会室及び事務所のレイアウト
を変更したい。婦人会、委員会と話し合って行く。案としては、
①応接室を事務所として使用.
②旧集会室を応接室兼集会室として改造.

4. 4月行事予定表
4月16日　復活の主日
4月23日　壮年会例会
ハイキングを予定　(日時未決定)

以上

婦人会だより

＜3月19日(日)　22名出席＞

◆**大掃除**　4月15日(土)10時より。
その時イースター卵作りを致します.

◆4月16日(日)ミサ後持ち寄りパーティー

◆**4月の例会**は第二日曜日9日に変更
当番D地区

◆**遠足の件**
5月24日(水)　葛の湯センターのバスで40名まで.　真鶴　中川一政美術館
会費　5,000円　(食事付き)
申し込み　3月26日より

以上